

平成 25 年度重症心身障がい児者地域ケアシステム整備事業の概要

1 重症心身障がい児者地域ケアシステム検討部会

重症心身障がい児者地域ケアシステム検討報告書の具体化の検討

【例：報告書に挙げられた施策など】

(1) ハード整備

- ①医療型短期入所の整備促進
- ②医療的ケアに対応できるケアホームの整備促進
- ③多機能支援拠点のあり方検討
- ④その他（既存資源の活用）

(2) ソフト拡充

- ①相談支援体制の整備拡充
- ②障がい福祉サービスの充実強化のための人材育成
- ③その他

2 重症心身障がい児者地域生活支援センター事業

(1) 身体介護技術（実践）研修

重症心身障がい児者に対応可能な事業所の充実を図るため、介護技術の向上を目的とした研修を実施

これまでの身体介護技術研修受講者（H22～24：867名）を対象にスキルアップ研修として実践を中心とした研修を実施（1圏域定員100名⇒合計600名）

- 〔例〕
- ・ポジショニング、褥瘡予防、楽な体位の保持支援
 - ・食事介助、おむつ交換
 - ・口腔ケア、体位交換、衛生管理（体を拭くなど）

※重症心身障がい児者に対応できるヘルパーをより多く養成するために、日程の都合等でH22～24に受講した圏域での受講ができない者については、他の圏域での受講を可能とする。

(2) 圏域会議

地域での課題解決を目的とし、医療・福祉・行政機関を交えた会議を開催

保健所、市町村、基幹相談支援センター等が参画し、それぞれが持つ情報を共有するとともに、小児在宅生活支援地域連携シートの活用（医療の関わり方）等について協議

※市町村毎に、医療と福祉の連携の現状と課題を整理し、今後のあり方について意見交換